

平成 29 年 7 月 21 日
 こども家庭部 保育課
 こども家庭部 保育計画調整課
 こども家庭部 こども施策企画課

平成 29 年度における保育所待機児童対策について

平成 29 年 4 月の待機児童数は、昨年度の 166 人から大幅に減少し、48 人であった。とりわけ、1 歳児の待機児童数は 122 人から 6 人となり、ほぼ解消された。

それでも待機児童が発生した要因は、地域における需要と供給のミスマッチが生じたことによる。そこで平成 30 年 4 月に待機児童解消を図るため、平成 29 年度の待機児童対策を下記のとおり実施する。

記

1 待機児童対策の内容

今後の更なる需要の増加が見込まれるとともに、地域における需給のミスマッチに対応するため、平成 29 年度の待機児童対策は、合計 700 人の定員枠の拡大を図ることとし、年齢や地域の特性に応じて、重点的な対策を実施する。

| | | 当初計画 | 新規拡大分 | 合計 |
|--------|--------------|--|--|--|
| 定員枠の拡大 | | 140人※1 | 560人 | 700人 |
| 内 訳 | 保育施設の整備等 | 140人※2 認可保育所 1か所 小規模保育事業 3か所 | 400人 認可保育所 4か所 小規模保育事業 5か所 | 540人 認可保育所 5か所 小規模保育事業 8か所 |
| | 保育ママの拡大配置 | — | 30人 | 30人 |
| | 3歳児1年保育の導入※3 | — | 80人 | 80人 |
| | 既存施設の定員増 | — | 50人 | 50人 |

※1…1歳児1年保育の定員を含んでいない。

※2…区立豊玉保育園改築による定員増を含む。

※3…地域偏在が著しくなると予想される、練馬総合福祉事務所管内地区については、区内のほかの地域に比べ、私立幼稚園が少ないため、練馬こども園による3歳以降の定員拡大が難しく、また、保育所整備の適地の確保も難しいという特性がある。このため、当該地域においては保育所の新規整備とともに、区立幼稚園を活用したバス送迎による3歳児1年保育を導入する。

<地区別・年齢別内訳>

(人)

| 地区 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 計 |
|-----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| 練馬 | 30 | 50 | 55 | 150 | 70 | 70 | 425 |
| 光が丘 | 15 | 30 | 25 | 15 | 5 | 5 | 95 |
| 石神井 | 40 | 65 | 40 | 10 | 10 | 5 | 170 |
| 大泉 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 計 | 90 | 150 | 120 | 175 | 85 | 80 | 700 |

さらに、昨年度から実施している1歳児1年保育を継続し、練馬こども園の拡大に取り組む。

2 区民への周知

6月21日号のねりま区報、区ホームページにより、区民へ周知する。

(参考)

練馬こども園の受入れ実績（平成29年5月1日時点）

16園で長時間預り保育を827人が利用している（定員1,135人）。

| 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|
| 257 | 289 | 281 | 827 |